

平成29年度8月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 平成29年8月2日（水）午前11時00分～11時20分

場所 市役所2階 第3委員会室

出席 市政記者クラブ11社

会見内容

1. はじめに（1項目）

1. ベトナム訪問について

- 釧路市では釧路コールマインの研修事業を始めとした、ベトナムとの交流を進めていることから、北海道により行われる「ベトナム・北海道ミッション」に参加するとともに、当市が進めているベトナムとのさまざまな取り組みへの協力を求めるため、釧路商工会議所や釧路コールマインとともに、8月7日（月）から10日（木）の日程で、ベトナムへ訪問いたします。
- 主な訪問先でございますが、釧路コールマインが平成14年から実施しており、技術移転事業の研修生の派遣元であります、ハノイ市の「ベトナム石炭鉱物工業グループ（ビナコミン）」を北海道知事とともに表敬訪問し、研修事業の継続に向けた協力をお願いしてまいります。
- また、ベトナムを相手国とする「2020東京オリンピック・パラリンピック」のホストタウンに登録されたことから、ベトナムオリンピック委員会や政府機関等を表敬訪問し、東京オリンピック・パラリンピック大会における、釧路市での事前合宿のお願いや、大会終了後を含めた交流計画など、スポーツ分野での交流についても深めてまいりたい旨を伝えてまいります。
- 「北海道プロモーション in ホーチミン・シティ」がホーチミン市で開催され、「北海道トップセミナー」では、高橋はるみ知事や北海道観光振興機構堰八会長のほか、市町村代表として私から、北海道の食・観光・産業などについてプレゼンテーションを行います。
- また「交流会」では、会場内の「道産食材・料理提供ブース」では、釧路の「イクラ」「さんまんま」「昆布製品」などの食材を現地のお客様に提供するなど、釧路の観光や物産をPRしてまいります。
- またダナン市において平成25年度から、釧路総合振興局や釧路商工会議所とともに、「JICA草の根技術協力事業」を実施し、当地域の衛生・品質管理技術の導入を進め、高鮮度、高品質の水産物の流通を目指すなどの取り組みを行っていることから、ダナン市を表敬訪問し、事業への継続した協力をお願いしてまいります。

- 今後もベトナムとの良好な関係を継続していくため、経済や文化、人的交流など、さまざまな形で進めてまいりたいと思います。

2. 話題提供（3項目）

1. 亜細亜大学硬式野球部による釧路市民球場リニューアルイベントについて

- 今年で8年連続となります亜細亜大学硬式野球部が、全面人工芝にリニューアルした釧路市民球場等において8月7日から19日までの合宿を行います。
- 今年の合宿では、釧路市民球場のリニューアルを記念いたしました、タンチョウ・リーグ in 釧路として、福岡ソフトバンクホークス（3軍）をはじめ、昨年の都市対抗野球大会の覇者であるトヨタ自動車や今秋のドラフト1位候補の田嶋選手を擁するJR東日本など、日本を代表する強豪チームが参加するオープン戦が開催されます。
- その他、道内のチームであります社会人チームの室蘭シャークスや地元のブレイブ釧路、大学チームの旭川大学、北見工業大学、東農大オホーツク、東海大北海道、地元の公立大を合わせて11チームが集結し、オープン戦を行うというものです。
- また、恒例の「少年野球教室」も12日（土）に開催されます。
野球教室に先立ちまして亜細亜大学の選手と野球教室に参加する多くの子どもたちとともに釧路市民球場のリニューアルオープンを記念したテープカットを実施いたします。
- 亜細亜大学の選手たちは、この釧路での合宿を「釧路キャンプ」と呼んでいるとのことで、涼しい釧路で思う存分練習していただき、秋季リーグでもすばらしい成績を収めていただけていると思っています。
- また、その他にも、今年は44団体のスポーツ合宿が予定されており、そのうち13団体が新規となっております。（7月末現在）
- そのうち日本大学サッカー部と小森コーポレーション陸上部も、学生向けの教室を開催する予定となっております。
- 次世代を担うアスリートたちが、スポーツ教室でご指導いただくことは、釧路地域における競技レベルの向上と子供たちや指導者の育成に大きくつながっていくものと期待するものであります。

2. 女性の創業チャレンジ支援について

- 市では、女性が活躍できる環境づくりを進めるため、昨年度から「女性の創業チャレンジ支援」に取り組んでいます。

- 今年度は、起業に関心を持つ女性のチャレンジを後押しするため、事業計画の作り方や収支計画の作成など実践的な知識を中心とした「女性の創業スタートアップセミナー」と、創業に対する不安や悩みを軽減、解消するため、専門家による「個別相談」を、8月25日にANAクラウンプラザホテル釧路にて開催します。
- 昨年度は、この事業終了後に、参加者の中から実際に事業を始められた方が2名おり、1名は「乳児用衣料品ネット販売」、もう1名は「ドッグホテルと雑貨等の販売」となっております。
- 少子高齢化が進み、人口減少社会を迎える中で、地域経済の持続的発展のためには、様々な担い手を生み出すための環境づくりが重要であると考えているところであります。特に、女性は最大の潜在力であり、その能力が遺憾なく発揮されるよう、市としてもこのような機会をつくり、これまで以上にサポートしてまいりたいと考えているところです。

3. 友好都市 出水市・釧路市交流事業

「出水市・釧路市 文化の交歓大会」の開催について

- 釧路市と鹿児島県出水市とは、鶴が取り持つ縁により、平成元年8月22日に「友好都市」の提携を行い、平成3年度に釧路市文化交流訪問団が出水市を訪問して以降、両市の文化団体が2年ごとに相互に訪問しあい、これまで13回にも及ぶ文化交流を進めてまいりました。
- 一昨年(2021年)の11月に私をはじめとする釧路市文化交流訪問団一行が出水市を訪問し、盛大な歓迎交流会など、行っていただいたところがございます。
- 今年度につきましては、9月2～4日の日程で、渋谷出水市長を初めとした出水市の訪問団が来釧されることとなっており、9月3日(日)午後1時から、生涯学習センターを会場に「出水市・釧路市 文化の交歓大会」を開催する予定であります。
- 交歓大会は、平成17年以来、12年ぶりの開催となります。
内容につきましては、舞台での発表を中心としたもので、出水市からは和太鼓集団「和楽」など3団体が出演、釧路市からも蝦夷太鼓や鳥取傘踊りなど郷土芸能を行う5団体ほどの出演が予定されており、両市合同の演奏も行われます。
- ぜひ、市民の皆さまにも当日、生涯学習センターに足を運んでいただき、友好都市との文化交流をご覧いただきたいと存じます。
- このような、文化団体による交流については、両市にとって大変意義深いことであり、今後も市民レベルでの文化交流事業を進めていきたいと考えております。

3. その他（2項目）

1. JR札幌駅における阿寒摩周国立公園名称変更PRについて

- 阿寒摩周国立公園の名称変更の官報告示が、近日中に示される予定になっております。
このたび、水のカムイ観光圏協議会ではJR北海道と協力し、「阿寒摩周国立公園」の名称変更を記念して、8月24日（木）から約1カ月間、札幌駅 西改札口 コンコースにおいて、国立公園周辺エリアのパンフレットやポスターなどを設置したPRブースを展開します。
また、最初の週末である8月26日（土）には、観光圏のPRキャラクター「つるまる」も登場します。
札幌駅に訪れている国内外の多くの方々にPRをしてまいりたいと思います。
- 「まりもの阿寒湖」「神秘の摩周湖」が同じ国立公園にあるなどの周知や、周辺地域と釧路市、弟子屈町の観光スポットの紹介、あわせてエリアをつなぐ釧網線のPRも行い、ひがし北海道へ足を運んでいただくきっかけづくりになることを期待しております。
- また10月3日（火曜日）には弟子屈町にて名称変更を記念した記念式典を行うことも予定しており、今後も「阿寒摩周国立公園」をはじめとした、世界に誇る地域の自然環境を守りながら、世界一級の観光地づくりを進めてまいります。

2. 第70回くしろ港まつりについて

- 今年で70回目を迎えます「くしろ港まつり」があさって8月4日（金）から6日（日）までの3日間行われます。
- 今回は港まつり70回を記念して、8月6日（日）に「くしろ港まつりスペシャルパレード」として、東京ディズニーリゾートのミッキーマウスをはじめとする8人が参加し、地元のキッズダンサーと一緒にパレードを行います。
- 年間3千万人が来場する、東京ディズニーランドでしか普段味わえないパレードの一部を、この釧路で繰り広げられることは、子どもたちから大人たちまで楽しめるものと思います。
- また、港まつりの期間中の様々なイベントのフォトコンテストを開催いたします。
各パレードと祭り全般の5部門を設定し、各部門の入賞者には、地場産品等の商品をご用意しております。
応募方法は、パソコンやスマートフォンから、写真共有アプリケーション

の「インスタグラム」にて応募いただきます。

詳しくは市ホームページや港まつりのチラシをご覧ください。

- 8月6日（日）のスペシャルパレードには、大勢の来場者が見込まれ、会場周辺の駐車場が大変混雑することが予想されます。

今回イトーヨーカドー釧路店とイオン釧路昭和のご協力により、駐車場の一部を開放していただきました。併せてくしろバスと阿寒バスが6日12時から最終便まで特別料金にて運航いたします

会場にお越しの際は、ぜひとも公共交通機関を利用していただきたいと思います。

- 8月5日（土）には、釧路—札幌間を運航している都市間高速バス「スターライト釧路号」が運航開始から30周年を迎えることから、くしろバス、阿寒バス、北海道中央バスのバス事業者による、「スターライト釧路号30周年記念イベント」が開催され、このイベントに交通事業者、利用者、学識経験者などで構成しております「釧路市地域公共交通活性化協議会」も参加し、公共交通利用促進のPRを行います。

- 8月5日（土）と6日（日）には、観光国際交流センター1階アトリウムで、8月1日から7日までの「水の週間」にあわせて、「水の週間キャンペーン」を開催します。

水道水とミネラルウォーターの飲み比べや水をきれいにする仕組みの解説、カラーマンホールの展示や塩ビ管を使ったパターゴルフや輪投げ、積み木などのご家族で楽しめるコーナーもあります。

- このほかにも様々なイベントがございますので、皆様にはぜひ会場に足をお運びいただき、釧路の短い夏を楽しんでいただければと思います。

4. 質問要旨

（質問）

- ・ ベトナム訪問について、北海道の訪問団としても同行されると思いますが、釧路市独自で行動する場面はありますか。

（市長）

- ・ 石炭の関係として、ベトナム石炭鉱物工業グループ（ビナコミン）、ホストタウンの関係として、ベトナムオリンピック委員会や文化スポーツ観光省のスポーツ総局などの政府機関を訪問します。また、釧路内の企業にベトナムから研修生が来ていることから、研修学校への訪問や、JICA事業の取り組み先であるダナン市に訪問します。

(質問)

- ・ ベトナム訪問には市長のほかにもどのような方が行きますか。

(市長)

- ・ 釧路商工会議所の栗林会頭と釧路コールマインの中島名誉領事、釧路市物産協会の職員も同行します。

(質問)

- ・ 10月に予定している国立公園名称変更記念式典の内容はどのようになっていますか。

(観光振興監)

- ・ 記念式典やシンポジウムなどを予定しています。

(質問)

- ・ 放射性廃棄物最終処分地の特性マップが発表されましたが、あらためてお考えをお聞きしたいのですが。

(市長)

- ・ 私は当初から、釧路市は日本の安全安心な食を提供する役割を担っている地域であり、選定されることはありえなく、そのスタンスはこれからも変わりません。

(質問)

- ・ JRの関係で、釧路の期成会としては今後どのような議論になっていくのか。

(市長)

- ・ 個別の沿線について議論をしていくなかでは、どこでとりまとめていくかという問題があるので、今は大きな枠組みの中で進めていくべきだと思っています。

そうしないと、最終的に北海道としてどのようにしていくかという議論になったときに、今までの議論はどうなったのかという話になってしまうかもしれません。

今後の道のフォローアップ会議での情報や方針を注視していきたいと考えています。

そのような前提の中で、釧路とオホーツクの両期成会では、釧網線についてはしっかりと守っていくということで決定しており、沿線自治体による合同部会を今年度中に設置してしっかりと協議していきます。

花咲線についても、スケジュールを合わせて近々にそのような場面を作っていくということを根室地域とも話しています。